

蒸気機関車の模型が寄贈されました

平成22年7月に開催した岩美駅開業100周年記念イベントの際に展示資料として岩美町が借り受けたもので、多くの町民の皆さんに見ていただこうと、これまで役場や中央公民館に展示してきました。

現在、中央公民館1階に展示している「C59形蒸気機関車」の1/10サイズ模型は、浦富出身の山下勇さん（鳥取市）が50年かけて製作されたものです。



蒸気機関車の模型は中央公民館に展示しています。



この度、その蒸気機関車の模型が正式に町へ寄贈され、町長が山下さんへ感謝状を贈呈しました。

SLに情熱を捧げた一代

鳥取工業学校（現在の鳥取工業高校）を卒業した後、国鉄の機関士になった山下



さんが30歳の頃、時代は蒸気機関車（SL）に代わりディーゼル機関車が主流となりつつありました。蒸気機関車が姿を消していくのを憂いた山下さんは、蒸気機関車を後世に残したいという思いから、自らの手で機関車を作ろうと決意。設計図を起こすことから始め、本物の機関車と同じ材料を使って部品ひとつひとつを自分で作っていきました。時には、町工場に木型を持ち込み、部品の製造を頼み込んだそうです。

製作開始から50年の歳月を経て平成21年、1/10サイズの「C59形蒸気機関車」がついに完成。このとき山下さんは82歳でした。サイズは1/10ですが、作りは蒸気機関車そのもので、ボイラーさえ取り扱うことができれば燃料を燃やして走行することができるようになります。

そしてその翌年、ちょうど岩美駅100周年記念イ

ベントの企画が持ち上がり、イベント会場で展示することになりました。その後も、山陰線や因美線で走っていた「8620形蒸気機関車」の模型を2台も作り上げました。「我々は、（技術者として）蒸気機関車を知り尽くしている最後の年代」と語る山下さん。現在は、蒸気機関車に情熱を捧げた生涯の集大成として、国鉄蒸気機関車の歴史に関する本を執筆されています。



山下勇さんと「8620形蒸気機関車」模型（鳥取市の自宅裏作業場）



町内の小中学校で 入学式

4月9日、町内すべての小中学校で入学式が行われました。

この春の新入生は、3小学校合わせて86人と中学校106人。緊張した面持ちで入学式に臨んだ新入生たちは、先生方、来賓や上級生の歓迎を受けて決意を新たにしていました。

ご入学おめでとうございます。



「道竹城トンネル」 安全祈願祭



現在、着々と工事が進んでいる国道178号・岩美道路の一部で、本庄の岩美IC（仮称）と浦富IC（仮称）をつなぐ「道竹城トンネル」（延長1,187m）の掘削工事が開始され、4月12日に安全祈願祭が行われました。

発注者である鳥取県関係者を始め、地元岩美町の関係者や工事関係者など約70人が参列。

トンネルの本庄側坑口に祭壇が設けられ、工事が無地終了することを願って、神事が執り行われました。

道竹城トンネルは、来年夏～初秋に貫通する予定です。

横尾棚田オーナー が水路清掃



横尾棚田で今年の農作業が始まりました。今年初めての農作業体験は、水路清掃。棚田オーナーや学生ボランティア35人が集まり、地元の方々とともに、棚田にきれいな水が届くようにと、近辺の水路に溜まった落ち葉や土砂を取り除きました。

《ボランティア清掃お世話になりました。》

実施日	実施団体	実施場所	参加人数
3月30日(土)	大岩・本庄地区自治会他	J R大岩駅周辺	150人

ありがとうございます!! 良い戸の日の ボランティア活動

4月13日(土) 木山建具店さんが、一人暮らし高齢者宅の建具修繕ボランティアを行いました。

日本建具組合連合会が昭和60年に4月10日を良い戸の日と定め、全国各地の建具工業組合で建具修繕ボランティアに取り組みられています。

戸車の交換や建具の調整、カーテンレールの交換を行いました。スムーズに開け閉めができるようになり、お年寄りの方も大変喜ばれていました。ありがとうございました。

